

授業時数短縮に応じた指導の転換への一試行

～表現力育成の基礎づくりを考えながら～

足利市立第二中学校 太田 武久

。はじめに

新教育課程への移行期である現在、足利地区の各学校の英語週授業時間数は、平均3.5ときいている。しかし、昭和56年度よりは、新教育課程の施行にともない、さらに削減され、3時間になる。この授業時数削減という現実を考えると、今までの授業の展開、指導計画、家庭学習に、もう一度目をむけて、新しい考え方に立脚しての授業展開を模索していかなければならないことを痛感する。

また、一方、新学習指導要領においては、「言語活動の基礎を養うことを、一層重視して、とくに、表現力の育成に、充分配慮すべし。」ということが述べられており、この主旨も加えて、上記のことを考えていかなければならない。

これは、我々英語教師に果せられた、大変な試練であると思われる。しかし、現在の生徒たちが将来、21世紀の時代に、世界の一員として、活躍していくには、初期の英語に興味を持たせ、英語を使う意欲をつけさせなければならない。この我々の使命を考えると、いたずらに困惑しているだけでは、能がなく、何とか前むきに試行していかなければならないと思う。以下、つたない、試行であるが、上記の二点の接点を考え、実践している事を記録してみたい。

① 1-section, 1-hour 的授業を打破し、各領域の言語活動の徹底をはかる、学習活動

従来の指導過程で、主流をなしてきたのは、1-section, 1-hourではなかったかと思う。またその時間内で、復習 - 展開 - 整理という、パターンが多かったと思われる。

しかし、授業時数短縮にともない、この従来の型を打破していかなければならないと考える。その理由は、

- ・1-sectionの言語材料が盛りたくさんであり、その時間内に終らず、次時にもちこまれることがよくあるが、授業時数が3時間に短縮された場合、大変こまるのではないか。
 - ・新しい教材に対してやるべき、各領域の学習（とくに、言語活動の基礎を養う、運用力の面で）が多すぎて、一つ一つの分野が中途半端になってしまわないか。
- 等である。以上の点を是正するために、以下のように、授業をすすめてみた。

次の側は、New Crown Series 2 Lesson 11 Kenya のものである。

(1) 時間配当

	ね ら い	主 な 学 習 活 動 内 容
第一次	・本課の要旨の理解 ・文型（受動態）理解と運用	・ケニアについての大ざっぱな説明を英語でできく

第二	①②③ P.72 P.73 P.74 内容理解 単語・連語の理解・運用	・受動態の文の説明をきき、その運用をはかる。(対話練習等により) 内容理解 大意をつかむ(タイトルをつける) 要旨を和問和答で T or Fによるチェック
第三時	前時の読み 本文を中心にきくこと。話すこと。 書くことの言語活動	・テープをきき、ポーズ、アクセント イントネーションに気をつけ、事柄の 概要をとらえながら読む。 ・ questions and answers T→P とくにP→Pに時間をかける ・ Summary (宿題, 空所をうめる)
第四時	④ P.75 内容理解 受動態の疑問文の理解運用	・内容理解 ・対話文を暗誦して Dialogue
第五時	受動態のまとめ	・受動態の肯定文, 否定文, 疑問文の運用と, まとめの練習問題を行う。

(2) 各時間の展開例

。 第一時

ア 本課の要旨理解

かんたんなKenyaについての説明を英文で行う, 生徒はよくきき, 後の質問に答える。

Lets begin to study Lesson 12 (アフリカ地図参考)
Lesson 12 is about Kenya. Kenya is in Africa.
Kenya is a new country. The capital of Kenya is Nairobi. (Tokyo is a capital of Japan.) Nairobi is a very beautiful city
The people in Kenya speak their language.
It is Swahili "Jambo" is hello in English.
They use English, too. There are a lot of animals.

Questions

1. Do you know Kenya?
2. Where is Kenya?
3. Tokyo is the capital of Japan.
What is "Capital" in Japanese?

4. Where is the capital of Kenya?

5. What language do the people use?

イ 文型理解と運用 (受動態)

◦ The people in Kenya use Swahili.

Swahili is used in Kenya (板書)

be動詞+過去分詞

English is used in Kenya, too.

世界地図を見て

This is England.

English is used in England.

これを基本文として、

This is Canada → English is used in Canada.

This is Australia →

◦ 有名なカップルを題材にして, dialogue

① 山口百恵 - 三浦友和 (現在)

A: Does T.M love M.Y?

(Yes T.M loves M.Yもあるが)

B: Yes M.Y is loved by T.M 等, 他に生徒にききながら

3・4文程度

② Romio - Juliet (過去)

A: Did Romio love Juliet?

B: Yes Juliet was loved by Romio

他. 貫一 - お宮等

③ 組み合わせをかえて (受動態の否定文)

A: Did Romio love Omiya?

B: (No, he didn't)

NO, Omiya was not loved by Romi.

④ A: Was Juliet loved by Romio? (受動態の疑問文)

B: (Yes, she was.

She was loved by him.

⑤

<input type="text"/>	is used by	<input type="text"/>
<input type="text"/>	is loved by	<input type="text"/>

 を自分でつくらせる。

(was)

○ 第二時

普通、英文を読んで、理解する場合、やゝもすると部分的なことに目を向け、全体をとらえて読むことが希薄になってしまうことが多い。新学習指導要領の言語活動の(イ)読むことの中に①「書かれている内容を全体として、まとめて読みとる」という項目がある。このやゝ多めの内容の中から、この事を中心にして指導してみた。

○ 一度テープを通してきく。

○ 新出単語、新出連語の確認・発音

○ ゆっくり、黙読する

○ P.72 タイトルをつけるとしたら……………ケニヤのことは

和問和答 ・スワヒリとは何か

・1971年にどうした

・英語はつかわれているか

○ P.73 タイトルをつけるとしたら……………ケニヤの動物園

和問和答 ・ケニヤには何があるか

・そこには 何がいるか

・そこは だれに訪問されるか

・日本の動物園とはどこがちがうか

・困ったことは

・うるさい人達は……………

○ P.74 タイトルをつけるとしたら……………ケニヤの政治と大学

・ケニヤは以前は……………そして今は……………

・ケニヤの若者の多くが昔 どこへ、何をしに行きましたか

・今は……………

○ 受動態の文を確認

○ 新出重要語句の理解と運用

例. use …… as …… take pictures を提示

英文 → 日本語 日本語 → 英文に転換させる

○ True or false で確認

○ 第三時

Reading および、内容を題材にきくこと、話すこと、書くことの言語活動

1. Reading

・テープをきく。(前時の内容を把握しながら)

・テープを聞き、センスグループによりポーズを教科書に記入させる。

・テープのあとについて、事柄の概要をとらえながら読む。

・個人よみ(何分間練習、あるいは、何回練習と提示)

- ・指名し読ませる。(ポーズに注意)

読むことの言語活動ははっきりした発音で正しく音読すること (イ)文の内容を考えながら、音読したり、黙読したりすることの実施

2. 内容を題材に Questions and answers

- ・教師による質問に生徒が答える。(2~3問)
- ・質問の文を生徒につくらせる。ノートに書く。
- ・ペア・グループで問答する。
- ・各グループ、一問を選び、黒板に書き、全員で問答する。

附記：本文の内容について問答することは、Communicativeな力をつけるのに大変役立つことであると考え、次のように段階的に指導している。

一年生：教師質問、生徒答文4問中から正解をえらばせる。

二年生：一学期 教師質問 生徒答えをノートに書き問答する。

二学期前半：質問文をつくることの練習を徹底的に行う。

その際、次のようなプリントを生徒に渡して徹底をはかっている。

英語で問答しよう!!

教科書の本文の意味内容がわかり、読めるようになったら、その内容をもとにして、問答してみよう。質問文はやさしいものから、むずかしいものといろいろ考えられるでしょう。

A 内容についての質問

- ① 教科書の文をそっくり使って (a) Yes, Noで答えられるもの
(b) Wh-...? (疑問詞) を使うもの
- ② 教科書の内容をさくもの

B 教科書の題材の中から話題をとらえて

Lesson 12 ①の例

A1 a Do the people in Kenya speak Swahili?

b What do they in Kenya as a common language?

② • Is English their official language?

• What is their official language?

• Did Swahili become their official language long time ago?

B • Where is Kenya?

• Do you Know Swahili?

生徒たちの作った質問文例

- What do they use in Kenya as a common language?
- Is there a big park in Kenya?
- Do you want to go to Kenya?
- Is there a small park or a big park?
- What animals are there in the big park?
- Why is English used in Kenya?
- Will you be able to use Swahili?
- Why did young Kenyan people go to England?
- What animals do they keep?

とても、多くのまたそれぞれ異なった、ユニークな質問を作る事にいつも驚かされる。とくに "Why is English used in Kenya?" 等という文はちょっと考えられないものではないだろうか。

◦ 第四時 ◦ 内容理解 (P75) 受身の疑問文の理解と運用

- 対話文を暗誦して対話する。

◦ 第五時 まとめと練習

- まとめの問題をやる。
- 同じ形式の問題を、数字を追加して、きいて、すぐ応答させる。

㊦ The car killed the dog.

→ Was the dog killed by the car?

◦ Taro used this car →

◦ The police arrested Paul →

(3) 生徒の反応

以上の時間配当及び展開で、授業を実施してみたが、従来の 1-section, 1-hour の授業と比較して、どのような感じ方をしたか、次の要領でアンケートしてみた。

Lesson 12 の学習は今までの一時 1 ページ方式とは少し違った方式で行いました。理由は英語の学習の各分野を徹底してやりたかったからです。

次の質問に答えて下さい。

1. 一番興味があったのは、何時間目でしたか。 () 時間目
2. よく理解できなかった (あまりおもしろくなかった) のは何時間目でしたか。
理由 (かんたんに) () 時間目
3. 今回の方式と今までの方式ではどちらが学習しやすいですか。○をつけなさい。

ア 今回の方式 理由 _____

イ 今までの方式
理由 _____

4. その他 英語の授業に対する感想を書いて下さい。

アンケートの結果：

1. 一番興味があったのは何時間目でしたか

1 時間目 18人 2 時間目 17人 3 時間目 16人

4 時間目 1人 5 時間目 4人

2. よく理解できなかった（あまりおもしろくなかった）のは何時間目でしたか

1 時間目 4人 理由 よく理解できなかった

2 時間目 4人 理由 一度に3ページはきびしい
細かいところが理解できなかった

3 時間目 5人 理由 質問文を作るのは楽しかったが、読みがおもしろくな
った

質問文を人にみせるから

4 時間目 6人

5 時間目 4人 理由 まとめはたいくつ

3. 今回の方式の方が学習しやすい 25名（44名中）

理由例・能率を上げて学習できる

- ・この方式だとじっくり身につく感じがする
- ・1時間1ページだと最初の時間だけがたいていない
- ・まとめてやった方が、その課の理解がしやすい
- ・大切なところがよくわかる
- ・時間にむだがなく、自分で復習しやすい
- ・たまには、変わった学習の仕方もおもしろい
- ・1ページずつよりも内容がわかる
- ・内容がとぎれない
- ・はじめに、説明を聞いた方が理解しやすい
- ・文法を先にやると、本文の意味がよくわかる
- ・文型ががっちりわかる
- ・英語をよく理解できるような気がする
- ・手ばやく学習できる
- ・たのしかった ・学習しやすい
- ・重要語句を一気にやったのでおぼえやすい

・今までの方式の方が学習しやすい 19名

理由例・3 ページ一度にやったので、ノートの書き方がむづかしい

- ・せいぜい一度にやるのは 2 ページ
- ・今までの方がなれているから
- ・よくおぼえられる
- ・細かな点がよく学習できる
- ・予習しやすい
- ・頭の中で、こんがらがらない
- ・ノートの取り方がよくできる 等であった。

生徒の反応から、この方式に、初めてにしては割理解解があったのは意外であった。

従来の慣れからいって、もっと批判的であると思われたのだが、とくに内容のまとまりがよいとの意見があり、反面、細かいところがよく理解できなかったとある。この細かいところというのは、いささか気にかかる。従来の評価（テスト問題）からみて、あまりにも完璧主義が身につけてしまったのではないかと思われる。今後、細かい点にあまりこだわらず、試み、書く、話す、聞くことを重視していく事が大切ではないだろうか。

② 表現力の育成を目指した他のこころみ

(1) Today's Topic :

2, 3分程度で、英語のふん囲気づくりとして行う。この際、前時の文型を必ず使うことにしている。

① 新人戦も終り、やっと落ちついて勉強できるようになった週

前時の基本文型：「Will be able to ~」

Last week you played baseball tennis football etc...with other school very hard
A, Did you get a victory? Yes That's great
B, Did you get a victory too? No, Im sorry to hear that
C, Will you be able to go to Utsunomiya?

Well this week we will not have an official game You will be able to study hard this week

以上をききとり、次の質問に答えさせ、内容をチェックをする。

- 下線の部分を日本語にやくさせる。
- 先週は何があったか
- 今週は公式戦があるかな（無）
- 今週、君達は……………

(2) 会話の工夫

とくに、休みあけの月曜日の授業は

T: Today is Monday. Yesterday was Sunday.
You did not come to school to study.
What did you do yesterday, A?

A: I went to the department store.

～Aの答えをきいて、他の生徒たちはまた質問をいろいろ考えてきく(ノートに記入)

㊦ Why did you go there?

◦ Did you go there with your brother?

◦ Who did you go with?

A: I went there to buy books?

～また、生徒たちに、質問をつくらせる。

◦ What book did you buy?

◦ Was it interesting?

◦ How much was it?

のように、一つの「質問-解答」に対して、いろいろな質問をつくらせる。とても、多くの質問がでてきて楽しい。

(3) 教科書の絵をみて、会話をする。

㊦ The New crown Series I Lesson20 P92.

おばあさんと学生が電車の中で話し合っている絵がある。そして What are you studying? I'm studying English というセリフが入っている。しかし実際にはもっと多くの、会話をしたはずであり、それを生徒たちに想定させる。

生徒の作品から

おばあさん

外国人の青年

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. Hello how do you do? | 2. How do you do? |
| 3. Are you a student? | 4. Yes I am |
| 6. I am a student, too | 5. What are you, Then? |
| 7. I am studying English. | 8. I am studying chinese |
| What are you studying? | |
| 9. Can you speak it? | 10. Yes, I can Ni-hao |
| 11. What is that ? | 12. It's hello |
| 14. I live in Tokyo. | 13. Where do you live? |

- (4) 教科書以外の長文物語を読む。(出張時の自主学習の時間や、夏休み等に)
- ・内用理解のための要点を問う和文の質問文を用意する。
 - ・ T o r F を用意する。
 - ・本文の要約を書かせる等の方法で、読みっぱなしにしないようにする。

。おわりに

以上、時間数削減にともなう、指導の転換への一試行と表現力の育成とくに話すことに重点を置いて実践をら列してみました。今後さらに、次の点を研究していかなければならないと考えます。

- ① 基本文等のドリルを徹底させるための機器の利用の研究
- ② 表現させる量と、質の研究
- ③ 表現することへの興味づくりの研究
- ④ G r o u p 学習を効果的にさせる研究
- ⑤ 表現力とその評価の研究
- ⑥ 能力差に応じた指導の研究

最後に、大変つたない実践記録を、はじめのいで発表してみたわけですが、諸先生の卒直な御指導をいただければこの上もない幸せと存じます。

評

新学習指導要領の趣旨を生かすべく、教える側の発想の転換を求めて、今、それぞれの分野で指導法の改善・工夫に取り組まれているところである。

従来の指導の反省の上に立って指導の質的転換を図ろうとされた、この実践記録は時宜を得たものとして読者にとって大いに参考になるものと思われる。

生徒の学習態度が教師の敷いたレールの上を走らされた P a s s i v e なものから、学習した英語をことばとして、それがたとえ満足でなくとも、使おうとしてきていることは、すばらしいことである。筆者の努力に敬意を表したい。

生徒の学習意欲を高め、表現力を高めるために大切なのは、この筆者のように、英語をことばとして使わせ、使えるようにしてやろうとする指導の姿勢である。